ねんきんだより Pensions News

新型コロナウイルス感染症の影響による減収を事由とする国民年金保険料免除について

新型コロナウイルス感染症の影響により国民年金保険料の納付が困難となった場合、臨時特例による国民年金保険料の免除や猶予などを申請することができます。

【対象となるかた】

保険料の免除・猶予および学生納付特例申請は、次の２点をいずれも満たしたかたが対象となります。

①令和２年２月以降に新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと

②令和２年２月以降の所得などの状況から見て、当年中の所得の見込みが、現行の国民年金保険料の免除等に該当する水準になることが見込まれること

※令和４年度分の申請を行う場合は、令和３年１月以降で収入が減少した月が対象となります。

【手続方法】

お近くの年金事務所または板倉町役場住民環境課戸籍年金係で申請ができます。

[問合せ]ねんきんダイヤル
☎0570-05-1165（ナビダイヤル）

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

「施設の入居権を譲って」という電話は詐欺です！

【事例】

介護施設の運営会社を名乗る人から「近くに介護施設ができ、あなたにはその入居権がある」と電話があった。身に覚えがなく「自分には必要ない」と断ると「入居権のない人にその権利を譲ってあげてほしい」と言われ、訳も分からないまま承諾した。

後日、弁護士を名乗る人から電話があり「入居するつもりがないのに施設の入居権を申し込んだあなたの行為は犯罪にあたる。違反金６００万円支払わないと逮捕され拘置所に入ることになる」と言われた。

あわててお金は用意したものの、もしかしたら自分はだまされているのではないか心配になった。（80歳代 女性）

【ひとこと助言】

実在する企業名などを名乗り「高齢者施設の入居権を譲ってあげてほしい」などと持ちかける不審な電話がかかってきたという相談が多く寄せられています。このような電話は詐欺です。相手にせずすぐに電話を切りましょう。

話を聞いてしまうと、さまざまな口実で金銭を要求されます。また、一度支払ってしまうと取り戻すことは困難です。たとえ不安に感じても、話をうのみにせず、絶対にお金を支払ったりしないようにしましょう。

少しでも疑問や不安を感じた場合には、すぐに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
10月２日（日）	ごが内科楡クリニック ７３－７５８７	星野こどもクリニック※ ７０－７２００	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
10月９日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	多々良診療所 ７２－３０６０	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	－
10月10日（祝）	金丸内科医院 ８８－３２００	小西医院 ８６－２２６１	新橋病院 ７５－３０１１	－
10月16日（日）	かさはら内科医院 ５５－２５３７	長谷川クリニック ８０－３３１１	小曽根整形外科 ７２－７７０７	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
10月23日（日）	森下内科医院 ７３－７７７６	神尾内科医院 ７５－１２８８	澤田皮膚外科 ７０－７７０３	－
10月30日（日）	加藤医院 ８９－１０３１	藤原医院 ８８－７７９７	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
11月３日（祝）	おうら病院 ８８－５６７８	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
11月６日（日）	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系）
◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター
☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

いろいろな子どもがいる中で

やる気スイッチが入った時が指導のタイミング

安藤尚基さん

あんどう　なおき　52歳
朝日野在住

ドライブが趣味で、日本各地でおいしいものを食べるのが楽しみ。時には車中泊をすることもあるそうです。

板倉町に定住

静岡県出身で、中学から大学まで野球を経験してきたという安藤さん。仕事や家庭の状況から、板倉町に居を構えられたそうですが、引っ越した当時は全く知り合いもいなかったということです。

最初の少年野球との関わり

それからお子さんが小学２年生で野球を始めるにあたり、チームでコーチや監督を務めました。その頃は町内には少年野球チームが４チームあり、町内でも大会が行われていました。

しかし、お子さんが卒業する頃には、１つのチームに再編されたこともあり、しばらくの間は安藤さん自身も少年野球から離れることになりました。

少年野球との関わり再び

少年野球を離れて２年。いまから６年程前に、１つになった野球チーム「オールスターズ」から声がかかり、再びコーチを引き受けることにしました。

引き受けたのは、将来定年を迎えた後の、地域でのコミュニケーションを持ちたいと考えたこともあるとのことですが、やはり野球が好きだからなのかなと感じました。

指導の難しさ

小学生に野球を指導する難しさは、野球が上手になりたい子もいれば、体を動かすことを目的に来ている子もいるところだそうです。

「それでも試合に負けたときの悔しさや、勝ったときのうれしさを感じたときに、子どもたちのスイッチが入ります。そういうタイミングを逃さないよう、指導していければいいと思います」という安藤さん。

子どもたちが中学に行って野球を続けるかどうかは分かりませんが、続けても恥ずかしくない技術を身につけてほしいという思いで指導されているそうです。

大人の草野球チームにも所属しているということで、これからも板倉町の野球を盛り上げてください。

レポーター
広報編集委員
長谷川緩子（はせがわあやこ）